



なごしさい
夏越祭
 無病息災 除災招福
 (7月29日)

岡田宮

— (宝永四年) 一七〇七 貝原益軒書 —

岡田宮夏越祭 ごあんない

第 45 号

平成20年7月吉日
 発行 岡田宮社務所
 北九州市八幡西区岡田町1番1号
 郵便番号 806-0033
 電話 (093) 621-1898
 FAX (093) 621-5330
 URL <http://www.okadagu.jp/>
 E-mail okadajinja@jcom.ne.jp

明治天皇御製

わが国は神のすゑなり

神祭る昔の手ぶり忘るなよゆめ

平成二十年七月二十九日(火) 午後六時~九時
 (雨天決行)

社頭に設けた茅の輪をくぐれば、悪疫を免れ幸福と繁栄を招来するという古式に則った夏越祭を厳修いたします。

大祓神事 午後六時より

どなたでも参加できます。参列の方には大祓詞をさしあげます。ふるってご参加ください。

当日ご参拝の方に

- 「お札」と「茅」を授与いたします。
- 魔除けとして玄関に奉斎して下さい。
- 無病息災・除災招福御神酒接待
ご参拝の方に御神酒をご奉仕いたします。
- 総当たり福引き・かき氷
地元青年会の屋台がたちます。
いづれも一回100円
- アニメ上映



無料券

当日この券をご持参ください
 福引き・かき氷のいずれか
 1回が無料になります。

総代会研修旅行催行される

「岡田宮宝物展」と

豊前の古社八幡古表神社・

求菩提山をたずねて

三月十八日 梶原章旺総代会会長以下一行四十二名は、早朝八時半、岡田宮東参道より出発。と思う間に八幡東区一いのちのたび博物館へと到着。ここで開催中の「岡田宮宝物展」を見学しました。(現在閉幕)これは神社が、古文書や宝物の調査・整理を博物館に委託し、その一部を広く一般に公開したものです。日頃見る事の出来ない貴重な宝物に一行は、とても興味深く熱心に見学していました。中でも、神社第一の神宝ともいえる「三還鈴」の実物が展示されており、通常は非公開のこの貴重な宝物は、社 によると藤原純友の乱の折、その征討將軍の小野好古と源経基が勝利を願って奉納されたとされています。実際の考古学的推定では、古墳時代、筑紫君磐井の乱の頃までさかのぼるとされ、大変貴重な宝物です。(現在、社務所参集殿にレプリカが飾られている。)

時間の都合で四十分程の見学の後、豊前吉富町鎮座の八幡古表神社へと出発。早春の淡い光を浴び、車中和気あいあいの中、バスは一路目的地へと。宮司様、神社関係者が出迎える中、無事に到着。一同拝殿に昇殿

し正式参拝。波多野宮司、梶原会長が玉串を挙げ、一同それに和して拝礼し御神前にご挨拶を申しました。その後、場を社務所に移し、熊谷宮司様より神社の諸々の説明がありました。この神社は、宇佐八幡と大変関係が深く、宇佐神宮の「放生会」に傀儡子舞を奉納する伝統がありますが、宇佐神宮への奉納は絶えていますが、神社だけの行事として伝えられています。「くぐつ」とは操り人形の事で、ピエオにより、人形の滑稽な仕ぐさや舞、中でも人形による「神相撲」、神々の霊の宿る人形が、次々と相撲を取る神事の説明があり、神様方の熱い取組の映像に一同は、大興奮でした。これは現在、閏年の八月上旬に行なわれるとの事。(国の重要無形文化財 傀儡子を納め祀った殿舎に案内され、実際にその御人形達を拝観。又、別棟の殿舎に祀られている御祭神神功皇后と、その御妹虚空津比売命の御神像を拝観しました。(神功皇后の御神像は、国の重要文化財との事)



豊前地方は、この求菩提山や英彦山を中心に山伏の修行、即ち修験道が大変盛んに行なわれた所で、江戸時代までは多くの修験者や参拝者で栄えました。明治以後、時の政府の意向で神仏分離令が出され、修験道は禁じられ、その後衰退していきました。しかし今でも信仰の山として、多くの神社仏閣が現存し、登山者・参拝者が多数あるとの事です。そのよすがを偲ぶ資料が沢山展示されているという、山腹の「求菩提山資料館」を見学。かつての一山の賑わいや、修験道の神秘を垣間見る多くの遺産を見学しました。

求菩提山を下山の後、バスは一路、国道十号線を北九州へとひた走りに。車中、旅の話に花が咲き、おみきも入り賑やかな様子。旅の疲れも見せず、午後五時頃、一名の事故者もなく無事、岡田宮東参道へと帰着しました。次回も有意義な旅行が出来ます様、多くの方の御賛同をお願い致します。又、八幡古表神社の熊谷宮司様始め、神社関係者の皆様には、厚くおもてなしいたご心より御礼申し上げます。この研修旅行を今後の神社奉仕の活動の糧とさせていただきます。

郷土地名考 45

響灘 (ひびきなだ)

北部九州の海域だが、なぜか商号、屋号や施設の名前には圧倒的に玄海もしくは玄界が多くて、響灘は軽んじられて口惜しがっている。響灘も玄海国定公園の一部だから間違いは言えないが、郷土にくつついた固有地名だから大事にして欲しい。ほんとは北九州市の海は玄界灘ではないのである。

響灘は遠賀郡岡垣町と宗像郡玄海町の境から地島、筑前大島を経て沖の島を結ぶ線が玄界灘との境界で、東側は山口県の西長門国定公園、川尻沖合までになる。どっちかというと山口県側の方が広い。だから若松の響灘開港の理立てが原因で赤潮が発生、山口県の漁民に北九州市が損害賠償を訴えられたことがある。

響灘のヒビキはヒミクで狭いところの意味、だから初めは関門海峡の西側をヒクミ灘と呼んだという説。

伊勢神宮御奉賛のお願い

氏子崇敬者各位

伊勢神宮の第六十二回式年遷宮が平成二十五年十月におこなわれます。神宮式年遷宮は二十年に一度古式のままだに社殿を新造し、御装束・神宝も新しく調え、大御神に新殿へお遷りを仰ぐ行事であります。千三百年の永い歴史と伝統を有し、日本建築の原型を今に伝え、日本古来の伝統・文化・技術の伝承を可能とする極めて文化的意義が高いものであります。

今回、御遷宮には五百五十億円の諸経費が必要となりますが、この内三百三十億円は神宮において準備され、残りの二百二十億円を前回に倣い、経済界、神社界等によって各県にて財団法人伊勢神宮式年遷宮奉賛会本部を設立し、広く国民の皆様から募金をお願いすることになりました。福岡県の募金目標は五億円、岡田神社の募金目標は二百万円となっております。

何卒、神宮の第六十二回式年遷宮が、国民総奉賛によりまして美しく斎行されますよう、皆様方の御支援・御協力をお願い申し上げます。

岡田神社宮司 波多野直之

神社責任役員 梶原章旺 岡石実夫 片田一夫
菊竹常吉 森 肇 望月康治

奉賛金額
奉賛者に対する待遇
一口 千円(何口でも結構です)

一口 参官章
五口 参官章 絵葉書
十口 参官章 扇子
百口 参官章 感謝状 卓布
奉祝祭案内状(平成二十五年十月)

岡田神社目標金額
納金方法

二百万円
岡田神社に持参

神社 なぜ 問答

(その45)

「絵馬」について 教えて下さい。

私たちが神社に参拝したとき、祈願の内容を絵馬に記して奉納しますが、これはもともと、神々に本物を馬を供えていたことに由来することです。

古くは「常陸国風土記」、「続日本紀」(しよくにほんぎ)などに、祈雨止雨、そのほかの祈願のために生きた馬を献上していたことが見られ、当時から神々の乗り物として馬が奉納されていたことが分かります。

その後、この代用として馬像や、さらに簡略化された絵馬が奉納されるようになりました。

古今東西を問わず、馬は人々の生活に深い繋がりをもっており、我が国においても、輸送や農耕、軍用など、あらゆる面で大きな役割を果たしてきました。このことは馬に対する信仰とも結びつき、例えば、平安時代に宮中でおこなわれた白馬節会(あおうまのせちえ)は、正月七日に天皇が白馬を御覧になるといふ行事で

すが、白馬が聖なる「陽」の動物なので、これを見ればその年の邪気を祓うことができると考えられたのです。その後、この行事は各神社においても除災招福の神事として執りおこなわれるようになりました。

こうした信仰は、神の乗り物として献上される馬とも関連すること、特に献上された馬を神馬(しんめ)と呼びました。後世、神輿が神々の乗り物として主に用いられるようになり、馬はお供えするだけとなりました。

絵馬には本来、馬の絵が描かれましたが、時代や人々の願いととも、馬以外の絵も描かれるようになりました。その内容は、祭礼の模様や干支病氣平癒や芸能上達の祈願を絵に現したものとさまざまです。

今でも受験シーズンが近づくと、合格祈願の絵馬が多く奉納されるなど、絵馬は人々の祈りの形を現したものとすることができます。



七五三

七五三祭は、子供の成長にともない折り目、折り目に神社にお参りして、いつそこの息災成長を祈る行事です。

三歳の男子女子の祝いを髪置、五歳の男子の祝いを袴着七歳の女子の祝いを帯解きなどと称しますが、これらの名称や、その年齢は地方により、時代によって必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行われた行事で岡田宮では、十一月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行われます。

なお、平成二十年の七五三の年齢は、左記のとおりですので、ご家族おそろいでお参り下さい。

記

- 三歳 平成十八年生 (かぞえ齢) 平成十七年生 (満年齢)
- 五歳 平成十六年生 (かぞえ齢) 平成十五年生 (満年齢)
- 七歳 平成十四年生 (かぞえ齢) 平成十三年生 (満年齢)

※年齢はかぞえ年でも、

満年齢でもかまいません。

※毎日午前九時より午後五時

まで受付をしています。



植えたあと

花がどんなにきれいで根のない苗をどうするか石ころのような小芋でもかみ毛のようなひげ根でもいのちがあれば植えておけ芽もでる
茎も葉ものびる
過去の仕事をかえりみよ
植えたあとから芽が出たか

大根

大根を掘って洗って
純白な肌を
しみじみと眺める
黒土の中から
どうしてこれほど真白いものが
生まれてくるのだろうか
にんじんを掘ると
赤い
ふしぎな気がして
あたまが さがる

有川 写真館

八幡西区岡田町1-44-3F TEL 0120-62-2080
本店を黒崎鎮守の森 岡田宮烏居横 尾畑ビル3階に移転いたしました

周田宮スタジオ (境内)

0120-620-753

神社挙式プラン

(挙式料・衣装・写真1枚込み) 98,250~

宮参り・七五三・入園・入学など

(お子様の衣装・着付け・ヘアメイク無料)

レンタルお出かけ衣装

1着 ￥5,000~ (お子様に限ります)

撮影料金

四切	1ポーズ	1枚	……	¥10,500
四切	2ポーズ	2枚	……	¥21,000
四切	3ポーズ	3枚	……	¥27,000